

「何かできるというほど、おまえは  
何もしていないじゃないか。生まれてきた  
からには、何かしらすべきことがあるはずだ。  
何もしていないおまえは、ここで死んではならない。」

コメント

淀千両松の戦いで、吉村貫一郎という人が  
池田という捨て鉢になってしまっていた隊士に贈った  
言葉です。吉村のそれまでの人生、池田のそれからの人生がい  
感じられる。胸をつくフレーズです

学校名：大分県立芸術文化短期大学

ニックネーム：見積もり書

タイトル：壬生義士伝

引用元

著者名：浅田 次郎

ページ数：

WEBに掲載：OK！・NG